

若手作家創作の成果披露

コシヒカリのもみ殻で制作したガラス玉を紹介する水野さん（右から2人目）



国内外3人 市内に1ヵ月滞在

滑川
 若手作家が滑川市に滞在して創作活動
 ・イン・レジデンス」の成果展が18日、国登録有形文

化財の同市田中小学校旧本館などで始まった。26日まで。
 作家は武蔵野美術大3年の湯川爽海さん(24)＝東京

＝と、東京芸術大大学院修了の水野渚さん(35)＝神奈川県、ハ・トゥイ・ハンさん(36)＝ベトナムの3人で、約1カ月間、市内に滞在し、制作を進めてきた。

湯川さんは詩人・高島高の生家である旧高嶋医院で、ペースト状にした新聞紙から作ったかごや、鉄粉と滑川の海水を吹き付けてさびさせた五箇山和紙などを展示。水野さんは滑川と射水で採れたコシヒカリのもみ殻を焼いて作ったガラス玉などを並べた。ハンさんは音と映像でトゥオンと呼ばれるベトナムの伝統劇を楽しむ空間を演出した。

滞在制作や成果展は不動産業のアトム(東京)が開く学生向けの公募展の一環で行われている。

古里の四季を
 ドローンで撮影

KU写真部作品展

黒部

黒部市内を中心とした写真愛好者やドローン操縦者でつくる「KU写真部」の作品展が、同市生地芦崎の北洋の館で開かれており、新たな視点で撮影した古里の風景が来場者を楽しませている。31日まで。

同市を拠点に活動するKUDローンマップ開拓機構のメンバーら8人が、四季



新たな視点で切り取った古里の風景写真が並ぶ作品展